

## ～ 脂質 ～

### 総コレステロール

生活習慣病の元凶である動脈硬化の進み具合を調べる検査です。肝臓病発見の手がかりにもなります。コレステロールは増加しすぎると動脈硬化を引き起こし、高血圧や心筋梗塞、脳卒中の原因となります場合があります。しかし、細胞を作る成分として、またホルモンなどの原料として、欠かせない脂肪でもあります。したがって、多すぎても少なすぎてもいけません。

考えられる疾患・受診科

高値：高脂血症、動脈硬化症、糖尿病、ネフローゼ症候群、甲状腺機能低下症  
低値：肝硬変、劇症肝炎、甲状腺機能亢進症  
《内科》

### HDLコレステロール

血管壁に付着した余分なコレステロールを回収して肝臓に呼び戻します。動脈硬化を防ぐ働きをするため、「善玉コレステロール」ともいいます。喫煙、運動不足、肥満などが原因で低下する場合があります。

考えられる疾患・受診科

低値：動脈硬化、高脂血症、糖尿病、肝硬変、狭心症、心筋梗塞  
《内科》

### LDLコレステロール

「悪玉コレステロール」といわれ、増加すると血管壁に沈着して血管を詰まらせたり動脈硬化を促進させ、心筋梗塞、脳梗塞の原因となります場合があります。

考えられる疾患・受診科

高値：高脂血症、動脈硬化症、糖尿病、甲状腺機能低下症、ネフローゼ症候群  
低値：肝硬変、甲状腺機能亢進症  
《内科》

### non-HDLコレステロール

総コレステロールからHDLコレステロールを引いて算出します。動脈硬化のリスクを総合的に管理できる指標となります。

考えられる疾患・受診科

高値：動脈硬化、脂質代謝異常、甲状腺機能低下症など  
低値：肝硬変、栄養吸収障害など  
《内科》

### 中性脂肪(TRG)

余分なエネルギーはほとんどが中性脂肪の形で蓄えられ、エネルギーが不足した時に利用されます。中性脂肪が増加すると、脂肪肝や肥満、動脈硬化などの原因となります場合があります。

考えられる疾患・受診科

高値：高脂血症、糖尿病、肥満症、脂肪肝、甲状腺機能低下症  
低値：肝臓病、甲状腺機能亢進症、先天性無βリポたんぱく血症  
《内科》